レオンカヴァッロ《ラ・ボエーム》初版・初期楽譜

（イタリア初版とフランス語版の初版）　　水谷 彰良

《ラ・ボエーム（*La bohème*）》4 幕のコンメーディア・リーリカ（commedia lirica in quattro atti）
台本／作曲：ルッジェーロ・レオンカヴァッロ（Ruggiero Leoncavallo,1857-1919）
原作：アンリ・ミュルジェール（Henri Murger,1822-1861）の小説『ラ・ボエーム生活の情景（*Scènes de la vie de bohème*）』（1851 年パリ刊）。
初演：1897 年 5 月 6 日、ヴェネツィア、フェニーチェ劇場

メモ

レオンカヴァッロはプッチーニに先立ってアンリ・ミュルジェールの小説『ラ・ボエーム生活の情景』を原作とするオペラを企画したが、初演はプッチーニ作品に 1 年 3 ヶ月遅れの 1897 年 5 月 6 日、ヴェネツィアのフェニーチェ劇場で行われた。レオンカヴァッロはこのドラマを欲望や衝動にかられて行動する二組の男女の悲劇と捉え、ミミとロドルフォのロマンティックな出会いや愛の二重唱をしりぞけ、ヴェリズモ的アプローチで成立させた。二つの《ラ・ボエーム》は同時期に国内外へ流布したが、レオンカヴァッロのそれはプッチーニ作品に凌駕され、上演の機会も徐々に失われた。しかしながら、現在はレオンカヴァッロの《ラ・ボエーム》も再評価されている。

1）初版楽譜（ミラーノ、エドアルド・ソンゾーニョ社、1897 年）

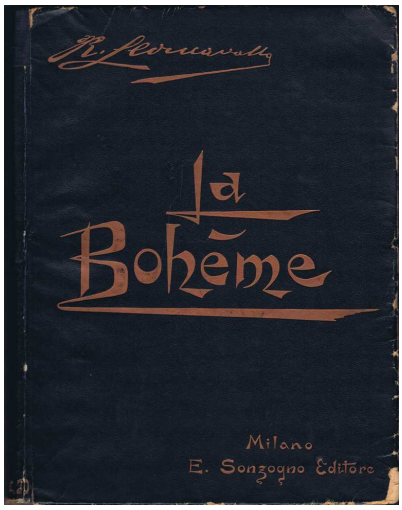
初版楽譜（ピアノ伴奏譜）ミラーノ、エドアルド・ソンゾーニョ、1897 年
プレート番号：E 940 S
Spartito riduzione per canto e piano.,Edoardo Sonzogno Editore., Milano,1897. [First edition]
＊ 1 vocal score ([10],417 p.) ; 30 cm, N. di lastra: E 940 S
タイトル頁記載：
LA BOHÈME / COMMEDIA LIRICA IN QUATTRO ATTI / PAROLE E MUSICA / DI / R. LEONCAVALLO / TRATTA DAL ROMANZO SCÈNES DE LA VIE DE BOHÈME / DI / H. MURGER / Riduzione per Canto e Pianoforte / MILANO / EDOARDO SONZOGNO, EDITORE / 14 - Via Pasquirolo – 14 / Copyright by EDOARDO SONZOGNO / 1897.

［Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo］

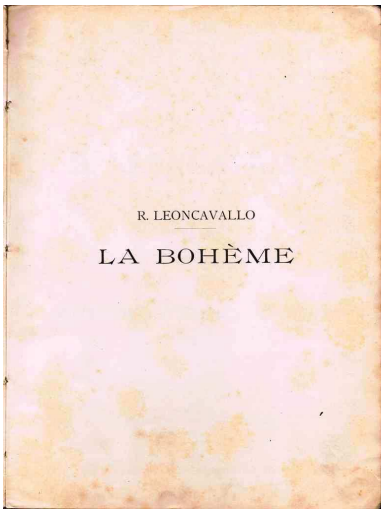
初版楽譜の概要

レオンカヴァッロ《ラ・ボエーム》の初版楽譜は、1897 年にミラーノのエドアルド・ソンゾーニョ社（Edoardo Sonzogno,Editore）の刊行したピアノ伴奏譜である。筆者所蔵のそれはオリジナルの外表紙を持ち、外装 30.5×23 cm、楽譜部分は 30×22.5 cm。プレート番号：E 940 S。楽譜に先立つ 10 頁は、[1]:ハーフタイトル（作曲者と題名のみ）[2]:無地 [3]:タイトル頁 [4]:クレジット（最下部に Milano, 1897. – Stabilimento della Società Editrice Sonzogno）[5]:献辞（A Mad.me Berthe Leoncavallo）[6]:無地 [7]:人物表（PERSONAGGI）[8]:無地 [9]:目次（INDICE）[10]:無地。楽譜は全 417 頁（pp.1-417）となっている。

《ラ・ボエーム》初版楽譜（1897 年。ミラーノ、エドアルド・ソンゾーニョ。筆者コレクション）

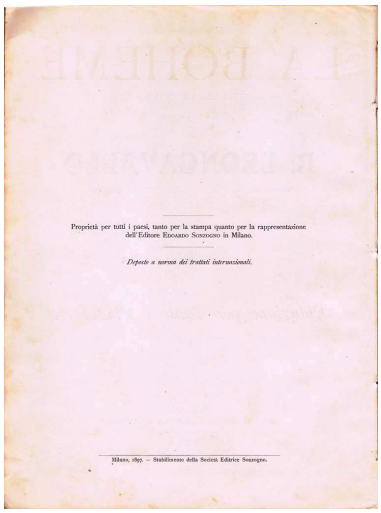


オリジナルの外表紙

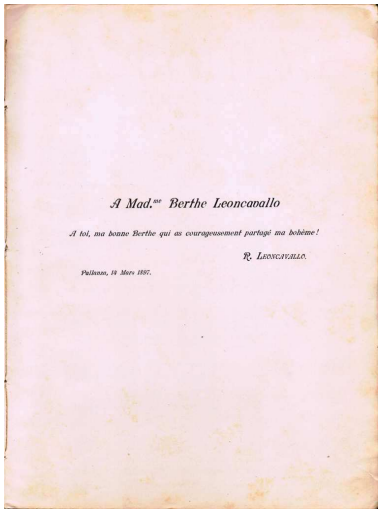


[1] ハーフタイトル

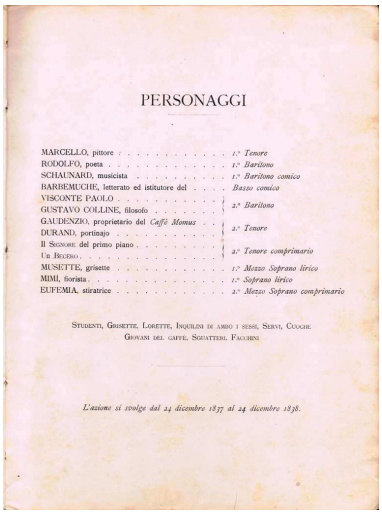
[3] タイトル頁



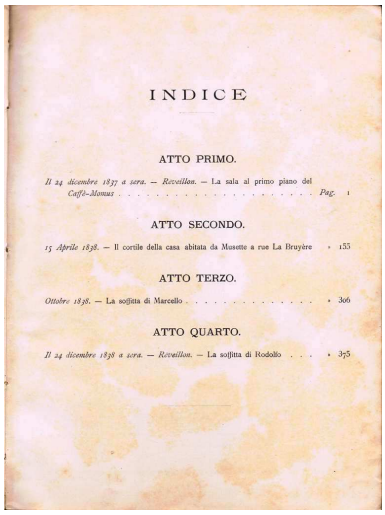
[4] クレジット



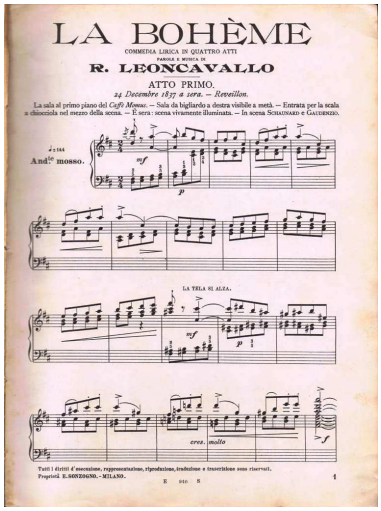
[5] 献辞



[7] 人物表



[9] 目次



第 1 幕の冒頭頁(p.1)

2)［第 2 版］(フランス語版の初版)

初版の 2 年後（1899 年)、ソンゾーニョ社は歌詞とト書きその他にフランス語訳を付加したエディションを作成し、出版した（[10],419 p.; 31 cm, N. di lastra: E 940 S)。筆者所蔵の同版はオリジナルの外表紙をとどめており、ソンゾーニョ社の住所に続いて「France- Belgique – Hollande / En depot chez CHOUDENS, ÉDITEUR / PARIS – 30, Boulevard des Capucines – PARIS」と印刷され、タイトル頁の記載も次のように変更されている。

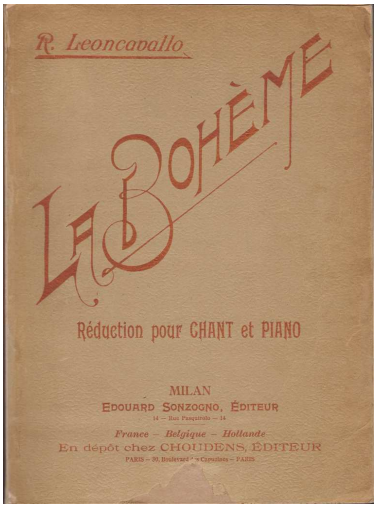
LA BOHÈME / COMMEDIA LIRICA IN QUATTRO ATTI / PAROLE E MUSICA / DI / R. LEONCAVALLO / TRATTA DAL ROMANZO SCÈNES DE LA VIE DE BOHÈME / DI / H. MURGER / Traduzione francese di EUGENIO CROSTI / PROFESSORE NEL CONSEVATORIO MUSICALE DI PARIGI / Riduzione per Canto e Pianoforte / TESTO ITALIANO E FRANCESE / MILANO / EDOARDO SONZOGNO, EDITORE / 14 - Via Pasquirolo – 14 / Copyright by Edoardo Sonzogno / 1897.

［Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo］

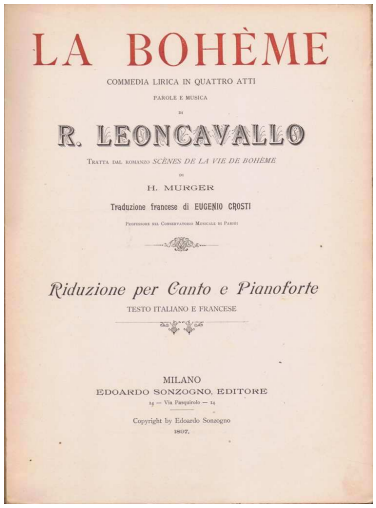
このエディションはフランス語テキストの追加以外にも楽譜部分に若干の追加があり、楽譜に先立つ 10 頁の順序も次のように変更されている―― [1]:ハーフタイトル [2]:無地 [3]:献辞（A Mad.me Berthe Leoncavallo）[4]:無地 [5]:タイトル頁 [6]:クレジット（下部に「1899 年」と印刷） [7]:目次（Indice） [8]:無地 [9]:人物表（PERSONAGGI） [10]:無地。

楽譜部分は 2 頁分増えて全 419 頁（pp.1-419）となり、295 頁以降の段組が全面的に変更されるなど初版との違いが明白であることから、第 2 版と位置づけて良いだろう。この実質的第 2 版には、歌い替えの追加が一箇所ある（第 3 幕ムゼッタとマルチェッロの二重唱の「Sì t'amo! tu lo scorgi al mio dolor! / Il cor t'imolora!...Ma parla alfine, ti discolpa almen!」の 4 小節にみられる旋律を一オクターヴ上に移行させる歌い替え。初版 p.353 と第 2 版 p.355.の比較による）。しかし、それ以外に顕著な音符上の異同は認められない。筆者はこの第 2 版が 1899 年 2 月 23 日ニースでのフランス初演用に作成されたと推測しているが、流布した形跡は無く、ICCU 目録にも該当するエディションを見出せないことから初版以上に稀少なエディションとなっている。

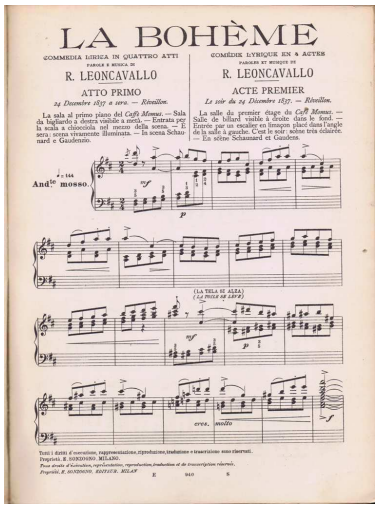
フランス語版の初版（ミラーノ、エドアルド・ソンゾーニョ、1899 年）



第 2 版：オリジナルの外表紙



第 2 版：タイトル頁



第 2 版：第 1 幕の冒頭頁（p.1）

付記：その他のエディションについて

1899 年 10 月 10 日にルネサンス劇場で行われたパリ初演を経て、パリのシュダン社（chez Choudens）から正規のフランス初版が出版された（プレート番号：A.C.12418。楽譜部分は全 305 頁。刊年 1901 年はプレート番号による推測。なお同版には「Sonzogno,1897」のクレジットがあるが、これは初版に基づくことを意味しない）。

その後レオンカヴァッロは《ミミ・ピンソン（*Mimì Pinson*）》と改題した改作版を作成し、1913 年 4 月 14 日、パレルモのマッシモ劇場で初演した。このヴァージョンのピアノ伴奏譜もソンゾーニョ社から出版されているが（*Mimì Pinson*: scene della vita di Bohème / R. Leoncavallo; riduzione per canto e pianoforte. - Milano : E. Sonzogno, cop.1913. - 1 spartito 349 p.,N. di lastra: E 940 S）、改作版の人気は上がらず、すぐに上演されなくなった。なお、ソンゾーニョ社の《ラ・ボエーム》現行版は基本的に初版楽譜の複製で、出版社の住所など楽譜に先立つ頁の記載に若干の変更があるのみ。

（2013 年 2 月作成。水谷彰良）